



【財務会計論Ⅱ 第1回】

ガイダンス・利益の計算方法

担当教員： 孫美灵

2022年4月13日



講義の受け方

❁ 課題の提出

方法①: Teamsにログイン→「課題」をクリックし、Formsにアクセス

方法②: Teamsにログイン→「投稿」から課題のリンクを確認し、Formsにアクセス

課題の「送信」ボタンを押すと再提出できませんので、ご注意ください

————— 以下は、コロナ感染等で通学できなかった場合 —————

❁ 講義資料のダウンロード（オンデマンドクラスのみ）

Teamsにログイン → 「ファイル」をクリック → 「クラスの資料」をクリック → 講義資料をダウンロード

❁ 講義動画の視聴（オンデマンドクラスのみ）

Teamsにログイン → 「投稿」から動画のURLをクリックして視聴

❁ 講義資料と動画の掲示期間（オンデマンドクラスのみ）

講義日の前日（対面講義の録画の場合は講義日）にアップ、翌週の講義日には削除

受講する上での注意点(講義資料・講義動画の著作権)

- ❁ 講義資料・講義動画は、皆さんの学習以外の目的で使用する
ことは禁止されています。
 - ・ 担当教員の許可なく、講義資料や講義動画の全部もしくは一
部をSNSなどインターネットで共有・拡散してはいけない。
 - ・ 担当教員の許可なく、講義資料や講義動画の全部もしくは一
部を受講生以外の第三者に共有・転送してはいけない。

なお、これらの行為は、流通科学大学情報セキュリティポリシーに違反し、流通科学大学学生懲戒規定に基づき懲戒の対象ともなり得る行為です。

流通科学大学情報セキュリティポリシー

<https://www.umds.ac.jp/about/regulation/security-policy>

本日の学習内容(目次)

1. 本講義のガイダンス
2. 利益の計算方法
3. アンケート調査

本日の学習内容(目次)

1. 本講義のガイダンス

1.1 講義の内容・進め方

1.2 講義の評価方法

2. 利益の計算方法

3. アンケート調査

1.1 講義の内容・進め方

❁ 主題と概要

本講義では簿記・会計の基礎知識を理解している受講者を対象に、貸借対照表の個別テーマを詳細に取り上げます。損益計算書については少し触れる場合がありますが、時間の関係上体系的に取り上げることはありません。講義計画に列挙されている個別テーマについてどのような会計処理が行われるかについて紹介し、なぜそのような処理を行うかについて背後にある会計理論を交えて解説します。

本講義は簿記技能を高めるための科目ではないが、日商簿記検定2級や1級の内容を理解するための手助けになります。

1.1 講義の内容・進め方

回	講義内容
第1回	ガイダンス・利益の計算方法
第2回	企業会計原則
第3回	資産の構成・有価証券
第4回	棚卸資産
第5回	有形固定資産
第6回	無形固定資産
第7回	減損会計
第8回	負債の構成・社債
第9回	引当金
第10回	資産除去債務
第11回	リース会計①
第12回	リース会計②
第13回	退職給付会計
第14回	純資産の構成・払込資本
第15回	評価換算差額等・新株予約権



以上の計画は、講義の進み具合によって少し変更する可能性があります。

1.1 講義の内容・進め方

✓ 指定テキストはなく、講義中資料を配布。

✓ 以下は、参考図書

❁ 伊藤邦雄著 『新・現代会計入門（第5版）』
日本経済新聞出版社 2022年

❁ 桜井久勝著 『財務会計講義（第23版）』
中央経済社 2022年

1.2 講義の評価方法

平常点

課題・小テスト = 60点

期末試験

40点

発言点

α 点

合計 100点 + α

1.2 講義の評価方法

❁ 課題

ほぼ毎回の講義で課題の提出を求めます。

❁ 小テスト

事前予告なく、ランダムに実施する。

授業のはじめに行うので、遅刻しないように注意してください。

❁ 履修にあたっての注意・助言

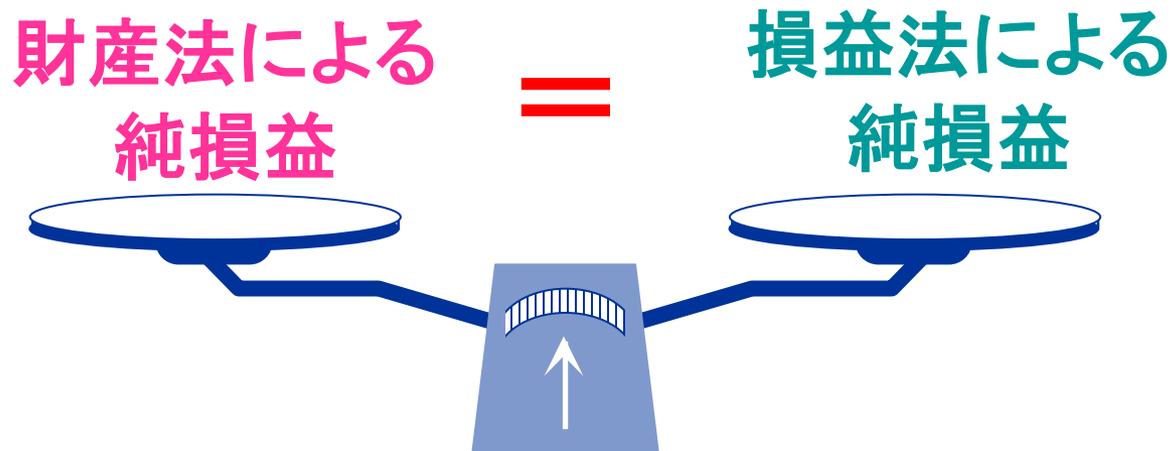
本講義は日商簿記検定試験の2級と1級の内容を扱うので、3級以上の知識を有することを前提に講義を進めます。「商業簿記Ⅱ」を履修済みであることが望ましいです。簿記の初級者を対象とした科目ではないので、くれぐれもご留意ください。

本日の学習内容(目次)

1. 本講義のガイダンス
2. 利益の計算方法
3. アンケート調査

2.1 利益の計算

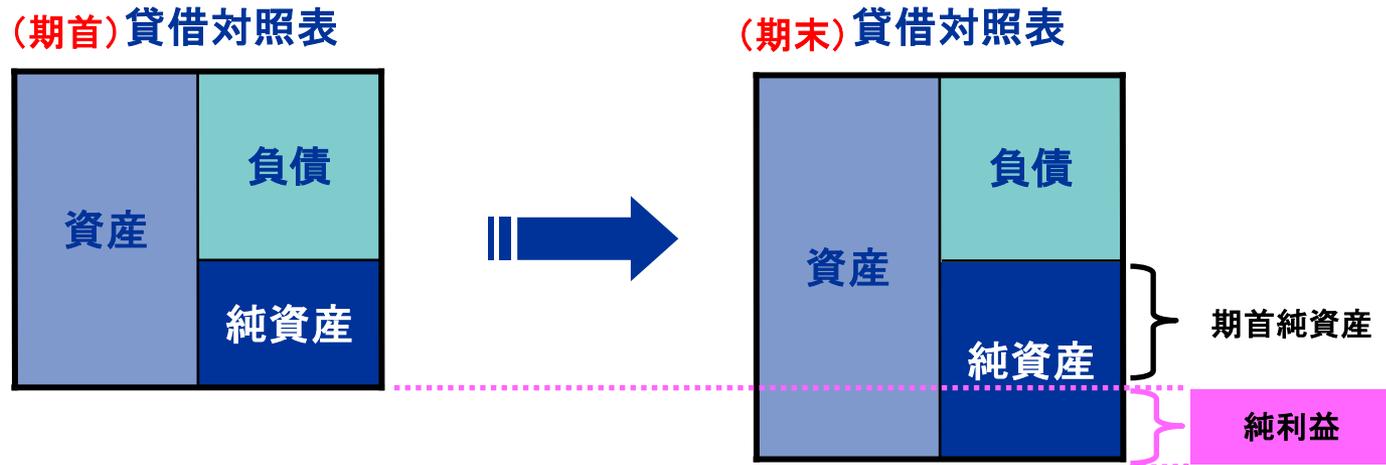
- 利益の計算方法には、(財産法) と (損益法) がある
この二つの方法による計算結果は必ず一致する



2.1 利益の計算－財産法

財産法

財産法とは、(期末純資産額) から (期首純資産額) を差し引くことで、一会計期間の (損益) を求める方法



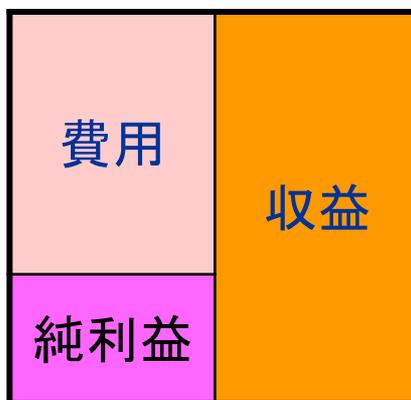
$$\text{純損益} = \text{期末純資産} - \text{期首純資産}$$

2.1 利益の計算－損益法

○ 損益法

損益法とは、(収益の総額) から (費用の総額) を差し引くことで、一会計期間の (損益) を求める方法

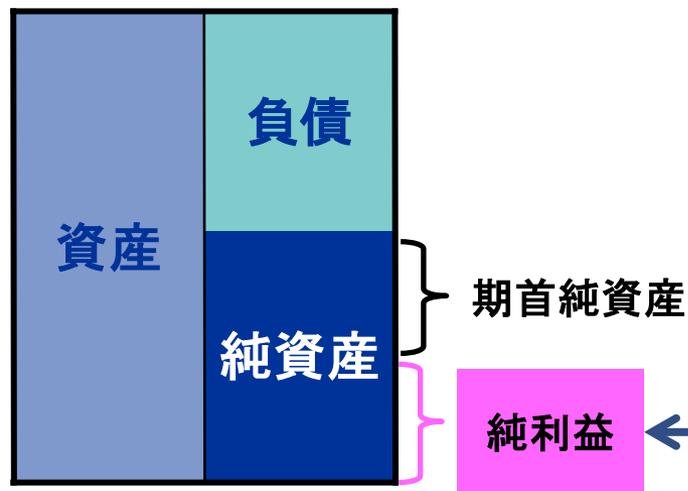
損益計算書



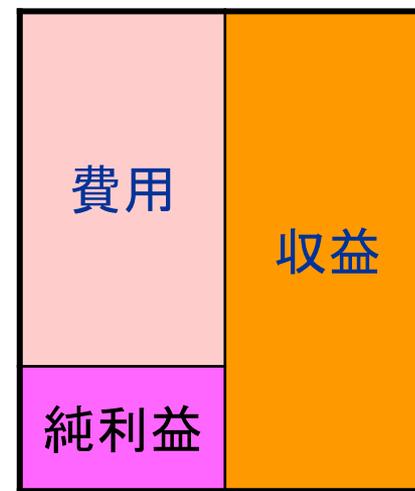
$$\text{純損益} = \text{収益} - \text{費用}$$

2.1 利益の計算－損益法

(期末) 貸借対照表



損益計算書



必ず同額

2.2 演習問題(1)



演習問題



 次の資料により、財産法を用いて当期の純損益を求めなさい。

	期首資産	期首負債	期首純資産	期末資産	期末負債	期末純資産	純損益
①	80,000円	30,000円	50,000円	85,000円	30,000円	55,000円	?円
②	100,000円	68,000円	32,000円	98,000円	68,000円	?円	?円

2.2 演習問題(1)の解答



演習問題



	期首資産	期首負債	期首純資産	期末資産	期末負債	期末純資産	純損益
①	80,000円	30,000円	50,000円	85,000円	30,000円	55,000円	?円
②	100,000円	68,000円	32,000円	98,000円	68,000円	?円	?円

(期首)貸借対照表

資産 80,000	負債 30,000
	純資産 50,000



(期末)貸借対照表

資産 85,000	負債 30,000
	純資産 55,000



$$\begin{array}{r} \text{期末純資産} \\ 55,000\text{円} \end{array} - \begin{array}{r} \text{一期首純資産} \\ 50,000\text{円} \end{array} = \text{当期純利益} \\ 5,000\text{円}$$

期首純資産
50,000

純損益?

2.2 演習問題(1)の解答



演習問題



	期首資産	期首負債	期首純資産	期末資産	期末負債	期末純資産	純損益
①	80,000円	30,000円	50,000円	85,000円	30,000円	55,000円	?円
②	100,000円	68,000円	32,000円	98,000円	68,000円	?円	?円

(期首)貸借対照表

資産 100,000	負債 68,000
	純資産 32,000



(期末)貸借対照表

資産 98,000	負債 68,000
	純資産 ?

期首純資産 32,000
純損益?

$$\text{期末資産} - \text{期末負債} = \text{期末純資産}$$

$$98,000\text{円} - 68,000\text{円} = 30,000\text{円}$$

$$\text{期末純資産} - \text{期首純資産} = \text{当期純損失}$$

$$30,000\text{円} - 32,000\text{円} = \Delta 2,000\text{円}$$

2.2 演習問題(2)



演習問題



 次の資料により、財産法と損益法を用いて当期の純損益を求めなさい。

期首純資産	期末資産	期末負債	期末純資産	収益の総額	費用の総額	純損益
50,000円	85,000円	30,000円	55,000円	83,000円	78,000円	?円

2.2 演習問題(2)の解答



演習問題



期首純資産	期末資産	期末負債	期末純資産	収益の総額	費用の総額	純損益
50,000円	85,000円	30,000円	55,000円	83,000円	78,000円	?円

(期首)貸借対照表

	純資産 50,000



(期末)貸借対照表

	負債 30,000
資産 85,000	純資産 55,000

財産法:

$$\begin{array}{rcl} \text{期末純資産} - \text{期首純資産} & = & \text{当期純利益} \\ 55,000\text{円} & & 50,000\text{円} & & 5,000\text{円} \end{array}$$

2.2 演習問題(2)の解答



演習問題



期首純資産	期末資産	期末負債	期末純資産	収益の総額	費用の総額	純損益
50,000円	85,000円	30,000円	55,000円	83,000円	78,000円	?円

損益計算書

費用 78,000	収益 83,000
純損益 ?	

損益法:

$$\begin{array}{rcl} \text{収益の総額} - \text{費用の総額} & = & \text{当期純利益} \\ 83,000\text{円} & & 78,000\text{円} & & 5,000\text{円} \end{array}$$

本日の学習内容(目次)

1. 本講義のガイダンス
2. 利益の計算方法
3. アンケート調査

3. アンケート調査(本日の課題)

❖ 課題の提出

方法①: Teamsにログイン→「課題」をクリックし、Formsにアクセス

方法②: Teamsにログイン→「投稿」から課題のリンクを確認し、Forms
にアクセス

課題の「送信」ボタンを押すと再提出できませんので、ご注意ください。

まだTeams上の当該クラスに参加していない方は、4/7(木)の講義
連絡で案内しているURLをクリックして、参加してください。

本日の講義、お疲れさまでした。